

會報

令和6年12月14日 発行

第 82 号

関東地区整形外科勤務医会

発行者：会 長 大江 隆史

発行所：事務局 新井 嘉容

〒332-8558 埼玉県川口市西川口5-11-5

済生会川口総合病院 整形外科

関東地区整形外科勤務医会

電 話 0570-08-1551

F A X 048-256-5703

公益通報者保護法とその対象

NTT東日本関東病院 院長

大江 隆史

選挙の秋は残暑のなかで過ぎ、私にとっては待望のスキー場開きの便りが聞かれる季節になった。今年は4WDの自家用車にはスタッドレスタイヤでなくて、オールシーズンタイヤを履くことにした。まだ履けるノーマルタイヤを捨てて、緊急時の金属チェーンを買った。ほとんど雪の降らない東京では、スキー場へは関東平野を脱出するのに乾燥路を100km走り、一般道のうち最後の10kmくらいが雪道となる。重いタイヤ交換で腰を痛めるリスクと手間を減らした。最新型のオールシーズンタイヤの性能が見ものである。

選挙と言えば、公益通報者保護がなされていないかとの疑惑が喧伝された。病院でも管理職になるとそれについての勉強もしなくてはならない。公益通報者保護法を管轄しているのは、消費者庁であり、そのホームページにQ&Aが掲載されている (次頁へ続く)

目次

1. 公益通報者保護法とその対象 大江 隆史 .. 1
2. 腰痛をとりまく現状と次世代環境 折田 純久 .. 2
3. 整形外科医が知っておくべきBCP (Business Continuity Planning) 黒住 健人 .. 3
4. 令和6年度関東地区整形外科勤務医会幹事・常任幹事会議事録 (令和5年6月17日) 4
5. 令和6年度関東地区整形外科勤務医会総会議事録 8
6. 2023年度事業報告 9
7. 2024年度事業計画(案) 10
8. 2023年度 収支決算書 11
9. 2024年度予算書(案) 11
10. 令和6年度関東地区整形外科勤務医会 常任幹事会議事録 (令和6年10月21日) 12
11. 事務局から 17
12. お知らせ 18
13. 入会申し込み書 19

(https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_partnerships/whistleblower_protection_system/faq/faq_002)。これによると、

Q2：職場で行われたパワー・ハラスメントやセクシュアル・ハラスメントについての通報は、公益通報に該当しますか。

A2：パワー・ハラスメントは労働施策総合推進法(昭和41年法律第132号)、セクシュアル・ハラスメントは男女雇用機会均等法(昭和47年法律第113号)においてそれぞれ規定されていますが、いずれも犯罪行為若しくは過料対象行為又は最終的に刑罰若しくは過料につながる法令違反行為とされていないことから、これらの行為については通報対象事実には該当せず、これらの行為に係る通報は公益通報には該当しません。なお、ハラスメントが暴行・脅迫や強制わいせつなどの犯罪行為に当たる場合には、公益通報に該当し得ます。となっている。選挙で問題になった通報が公益通報にあたるかは、その内容にハラスメント以外の案件が含まれていたかによると考えられるが、マスコミはそれに触れていない。

返って管理者の先生方においては労働施策総合推進法、男女雇用機会均等法に基づいた院内規則を整えなければならないことを知っていただくことが必要であろう。命に係わる手術の場面で、修練中の医師を叱責することまでパワハラとされると、困るのは患者であり、社会であることを勘案した規則にすることが社会の利益(まさに公益!)にあたるのではないかと思う。

私の家用車用に180cmまでのスキー板を入れられるルーフボックスも購入して、娘家族の歓心を買おうとたくらみながら雪を待つ晩秋である。

腰痛をとりまく現状と次世代環境

千葉大学フロンティア医工学センター、千葉大学大学院医学研究院整形外科学

折田 純久

1. 腰痛の現状について

腰痛は本邦における最も一般的な症状の一つであり、成人の約83%が一生のうちに経験するとされ、医学的のみならず社会的意義も大きい。平成22年度の厚生労働省による報告によれば職業性疾患の60%以上が腰痛に関連しており、さらに4日以上以上の休業を要する職業性疾患の原因となっている。腰痛患者の多くは保存的治療を受け、患者教育や自己管理が重要視されるが必要に応じて手術療法も行われる。腰痛診療ガイドライン改訂第2版2019では、重要な脊椎疾患である感染、外傷、悪性腫瘍などをスクリーニングするための臨床項目を明記した危険信号(Red Flags)が挙げられている。

2. 慢性腰痛の治療

慢性疼痛の治療モデルとして、生物-心理-社会モデルが提唱されており、これは身体疾患、心理的要因、社会的要因が複雑に絡み合って痛みを引き起こすというものである。認知行動療法(CBT)が慢性疼痛治療において推奨され、患者の自己効力感を高めることが重要視される。その一環としてExergaming(=Exercise+Gaming)が挙げられ、慢性腰痛患者に対するフィットネスゲームによる介入が慢性の痛みと心理的要因に対して有効であることが示され、運動療法の新しい形として報告された。

3. 次世代研究における最新技術の導入

演者の研究グループは先端医工学を用いた運動器疾患の診断と治療の支援を目指している。具体的には、AI診断ツールの開発やスマートコルセットのようなウェアラブルデバイスの研究が進められ、これにより患者の生体情報をリアルタイムで計測・転送し、テーラーメイドのリハビリテーションが

可能となることが期待される。また、MRI技術の進歩により骨軟部組織の高精度な画像化が可能となり、特に腰痛診療において有用である。さらに、AIを用いた画像診断が進化しており、特定の腫瘍や脊椎疾患の診断において高い精度を誇る。

4. 今後の展望

腰痛をはじめとする今後の慢性疼痛診療は、新しい知見の発見に加えてAI技術のさらなる進化により医療現場での診断支援が強化されるとともに、患者個々のニーズに応じた治療法の提供が進むと考えられる。また、医療者不足が懸念される中、テクノロジーを活用した効率的な診療体制の構築が求められる。

整形外科医が知っておくべきBCP(Business Continuity Planning)

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 外傷センター 部長

黒住 健人

BCP (Business Continuity Planning) は事業（業務）継続計画と訳される。医療において事業とは診療のことである。従来の災害マニュアルは災害発生後の緊急対応行動を指南するものであるのに対し、BCPは事前の準備や災害発生後の継続的・長期的行動計画であるという違いがある。歴史的には、1995年の阪神・淡路大震災の際の反省を元に当時の厚生省の指導により各病院で災害対応マニュアルが整備された。しかし2011年の東日本大震災の際にはその災害マニュアルが十分には機能せず、今度は厚生労働省の指導の下2018年にBCPの策定が義務化された。2018年に日本整形外科学会の災害対応ワーキンググループ（現委員会）で行ったアンケートでは、整形外科医のBCP認知度は災害拠点病院においてでさえ約半数であった。BCPを作成する業者も存在するが、生きたBCPを策定するには病院側がBCPを知る必要がある。

BCPのイメージは、災害発生後に生じる病院機能低下を量的にも時間的にも少なくするものである。具体的対策として考えなければならないのは、人員、物流、インフラ、情報など様々である。多くの人為災害の場合には、病院機能自体は維持されるため、職員招集の方法や災害発生後の病院の運用を変えることで対応可能である。しかし、自然災害の際には人員、物流、インフラ、情報などの全てに障害が発生することが予想されるため、その対応は多岐に渡る。事前にできる準備としては、減災のために自治体が発行している災害マップ等によって自院を取り巻く状況を把握することから始める必要がある。また発生後には、従来想定されて来た患者受け入れ維持・継続のBCPだけではなく、直下型地震など甚大な被害が発生した場合には、自院の機能縮小・維持や病院避難のBCPも考えておく必要がある。これを機会に、以下の資料などを参考に災害に備えて頂きたい。

参考資料

厚生労働省ホームページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleza/kenkyu_00001.html

令和6年度関東地区整形外科 勤務医会 幹事・常任幹事会 議事録

日時：2024年6月22日(土曜日) 14:30~15:20
会場：「AP東京八重洲通り」 11F [L+M] ルーム
出席者：

阿江 啓介、浅野 聡、新井 嘉容、伊室 貴、
岩部 昌平、上田 誠司、江畑 功、大江 隆史、
大野 隆一、桂川 陽三、亀山 真、楠瀬 浩一、
河野 亨、小森 博達、進藤 重雄、杉山 肇、
田尻 康人、辰巳 徹志、戸野塚 久紘、中尾 祐介、
長瀬 寅、新関 祐美、林 淳慈、福田 健太郎、
眞塩 清、松本 誠一、三上 容司、村松 俊樹、
山本 精三、若林 良明

(30名：五十音順、敬称略)

【報告事項】

1 理事会報

大江先生より報告

・広報・渉外委員会

令和6年度「運動器の健康・骨と関節の日」活動計画についてテーマに副題を『『自分で動ける』を支える～1万人のアンケート調査からわかったこと～』とした。河野博隆副理事長から「パフォーマンス」の意味が生活動作であることが伝わりにくいのではないかと意見があり、広報・渉外委員会で検討する。

・JOINTS 稼働開始に向けたスケジュールとマイルストーン

田尻康人副理事長から、資料6に基づき JOINTS 稼働開始に向けたスケジュールとマイルストーンについて報告された。8/13より変更、基礎学術集会より参加方法の変更、会費の納入方法、教育研修会の参加記録方法、等大きな変更。随時、連絡があるので注意を。

・日整会100年プロジェクト推進会議

100年プロジェクト特設ページ議長及び岡直樹オブザーバーから、資料10に基づき100年プロジェクト特設ページの内容更新、英語・日本語コンセプト

ムービー短縮版の最新版及び第97回学術総会で使用する100年プロジェクト周知用の幕間スライドについて報告された。

2 ホームページ・会報

伊室先生より報告

- ・会報第81号
- ・HPについては随時更新

3 「ロコモチャレンジ！推進協議会」の活動報告

大江先生より報告

- ・がんロコモWG開催報告
- ・勤労者ロコモWG報告
 - ・10月5日産業衛生学会協議会で共催ランチョンセミナーを実施する予定
 - ・産業医大准教授中村先生をリーダーとして活動
 - ・日整会総会レポート
 - ・学会によるロコモシンポジウムの参加がとても多く、立ち見が出るほど盛況であった。
 - ・来年はメタボとのコラボ、その後は循環器病学会ともコラボ

4 外保連関係の報告

亀山先生より報告

- ・日本整形外科勤務医会社保委員会報告
 - ・第1回外保連実務委員会（6月5日）

1 令和8年度診療報酬改定に向けた要望項目アンケートの案内

記入要項は外保連より配信済み（2024/6/5実務委員会で概略の説明）

アンケート提出期限は本年9月30日予定（オンライン登録について）

新規技術については9月30日以降にもある手術委員会で審議を受け承認を受ければよい。

2 不合理矛盾点意見（緊急要望）の検討

→令和6年度改定で採択された要件に限定

→実際に緊急要望として認可された案件は16案件中3案件のみ

・第1回外保連手術委員会（6月20日）

1 整形外科領域のKコード改編作業→診療報酬点数表（手術）の記載を術式ごとから部位ごとへ変更

例) 術式名が、骨折観血的手術（前腕、下腿、手舟状骨）で部位が前腕の場合の名称は前腕骨骨折観血的手術となる。

→改変作業案は承認され厚労省へ提出

- 2 外保連手術実態調査（4年に1度）について
 →外保連事務局より9月、10月分のデータ（麻酔時間、手術時間）の調査依頼（日本外科学会指定施設宛）
 →2023年のNCD、整形外科領域ではJOANRが使えるかどうかは未定。
- 3医療材料の実態調査について（7月より案内）
 ・令和6年度全国整形外科保険審査委員会議（全審会）はハイブリッド開催（2024/9/8）予定
 ・整形外科分野の関連学会合同会議（2024/8/8開催予定）
 →令和8年度改定へ向けた要望項目の調整
 →要望項目の日整会への報告締め切り（7/31）

平泉先生より報告

- ・日整会社保委員会報告（事務局より説明）

- 1 モルヒネ髄注ポンプに関する3学会合同ワーキンググループ会議を開催中
 ・参加学会：日本整形外科学会、日本ペインクリニック学会、日本定位・機能神経外科学会
 ・厚労省からの指示で、ITM（モルヒネ髄腔内持続注入療法）の適正使用指針を作成中
 ・適応：癌性疼痛、慢性難治性疼痛
 ・髄注ポンプ（承認済み）の販売元は日本メドトロニック社
 ・髄注ポンプに注入使用を承認されたオピオイドはpHの関係で硫酸モルヒネのみ。
 国内に製造・供給する製薬会社がない。
- 2 「アルツ」不採算に伴う安定供給継続のための要望書提出依頼
 ・生化学工業株式会社
 ・国内シェア1位
 ・薬価引き下げ／原材料費の高騰による不採算
 ・「安定供給継続のための御協力をお願い」要望書の作成・厚労省への提出依頼
- 3 外保連「整形外科領域Kコード整理」が最終段階
 ・6月13日プロジェクトチーム審議が終了→6月20日外保連手術委員会で審議→7月厚労省保険局医療課へ提出→令和8年改定で実施
- 4 全国整形外科審査委員会議（9月

- 8日開催）での審議案件の募集
 ・日整会社保委員会で採否を決定（7月29日開催）

- 5 令和8年度診療報酬改定のための整形外科関連学会合同会議を召集
 ・8月8日開催（日整会社保が主催）
 ・各学会の要望項目を調整、主学会を決定
 ・9月締め切りで外保連へ提出

5 内保連関係の報告

石橋先生より報告

- ・令和6年整形外科関連提案1〔未収載〕
 285101 日本整形外科学会（日本腰痛学会、日本脊椎椎間病学会、日本リハビリテーション医学会、日本運動器科学会、日本臨床整形外科学会、日本病態栄養学会、日本老年医学会）
 # 四肢骨格筋量測定（四肢・体幹の筋肉量、脂肪量）
 ① DEXA 法 ② BIA 法
 737101 日本臨床整形外科学会（日本整形外科学会、日本運動器科学会）
 # ロコモ・フレイル指導管理料 ロコモやフレイルは病名ではない
- ・令和6年整形外科関連提案2〔既収載〕
 728203 日本リウマチ学会（日本整形外科学会、日本臨床整形外科学会）
 # 関節リウマチ治療における生物学的製剤・JAK 阻害薬に変更時の抗CCP抗体定性、定量測定
- ・令和6年整形外科関連提案3
 737202 日本臨床整形外科学会
 # 二次性骨折予防継続管理料 1：算定施設要件の緩和→要望通り反映された。
 有床診療所で二次性骨折予防継続管理料 1 を算定することが認められた。
- ・令和8年度診療報酬改定作業
 一般社団法人 内科系学会社会保険連合
 今後連携する学会
 日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会
 日本運動器科学会、日本リウマチ学会、日本骨粗鬆症学会、日本臨床整形外科学会、日本腰痛学会、日本老年医学会
- ・令和8年 診療報酬改定に向けて
 # 四肢骨格筋量測定（四肢・体幹の筋肉量、脂肪量）
 ① DEXA 法 ② BIA 法

- 令和6年度 日本整形外科学会（日本腰痛学会、日本脊椎脊髄病学会、日本リハビリテーション医学会、日本運動器科学会、日本臨床整形外科学会、日本病態栄養学会、日本老年医学会）
- # ロコモ・フレイル指導管理料
- 令和6年度 日本臨床整形外科学会（日本整形外科学会、日本運動器科学会）
- # 二次性骨折予防継続管理料：対象疾患の拡大（椎体）
- 令和6年度 日本運動器科学会（日本臨床整形外科学会）
- # 骨粗鬆症を特定疾患療養管理料の対象疾患に入れる
- 6 本日6月の総会、第78回教育研修会
事務局/村松先生より報告
- ・日時：2024年6月22日(土) 15:30～18:00
 - ・会場：A P東京八重洲通り（11F K+L+Nルーム）
15:30～15:50 総会
15:50～16:00 製品情報提供 帝國製薬企業 DVD
16:00～18:00 第78回教育研修会 2 演題
（講師控室：Nルーム）
18:00～20:00 情報交換会（Mルーム）
 - ・演題1
座長：中尾 祐介先生（東京都教職員互助会三楽病院 整形外科部長 脊椎脊髄センター長）
演者：折田 純久先生（千葉大学フロンティア工学センター 千葉大学大学院整形外科学教授）
演題：「腰痛を取り巻く現状と次世代環境」
必須単位：[7] 脊椎・脊髄疾患, [SS] 脊椎脊髄病医
開始時間：16:00 終了時間：17:00
 - ・演題2
座長：山本 精三先生（国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 整形外科特任部長）
演者：黒住 健人先生（国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 外傷センター部長）
演題：「整形外科医が知っておくべきBCP（Business Continuity Planning）」
必須単位：[14-5]
開始時間：17:00 終了時間：18:00
- 7 次回10月の常任幹事会の日時、開催形式
事務局より報告
- ・配信日：2024年10月21日(月)19:00～20:00
 - ・形式：WEB（Zoom）開催
- ・日整会代議員候補関連の審議予定
- 8 次々回12月の幹事・常任幹事会、第79回教育研修会
事務局/村松先生より報告
- ・日時：2024年12月14日(土)14:30～18:00
 - ・会場：旭化成ファーマ株式会社 医薬東京支店 会議室
〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目3番1号 新宿アイランドウイング11階
 - ・14:30～15:30 幹事・常任幹事会
15:40～15:50 製品情報提供
16:00～18:00 第79回教育研修会 2 演題
 - ・演題1
演者：松坂 俊先生（飯塚病院 連携医療・緩和医療科）
演題：「壊死性筋膜炎について（仮）」
 - ・演題2
演者：田中 伸哉先生（CHO さいたま北部医療センター地域連携室長 整形外科 診療部長）
演題：「骨粗鬆症関係（仮）」
※演題内容はまだ正式な演題名ではありません
- 9 常任幹事退任
事務局より報告
- ・落合 直之先生（キッコーマン総合病院 外科系センター長）
 - ・木村 雅史先生（医療法人社団善衆会善衆会病院 理事長）
- 10 2023年度事業報告【資料1】
事務局より報告
- 11 その他
- ・帝國製薬より報告
研修会の案内（チラシ）において国家公務員共済組合連合会虎の門病院の黒住健人先生の所属病院名が「国家公務員共済組合会虎の門病院」となっており、「連合会」が抜けていたことに対して訂正とお詫びがなされた。
 - ・事務局より報告
広告費により得た収入は、會報にかかわる経費（印刷代・作成時の校正作業代・原紙代・発送代等）のみに使用目的を明確にし、運営する。
 - ・事務局より報告
會報の発送を以前は特定個人宛でも低コストで送付可能な「ヤマト運輸」の「クロネコDM便」を

使用していたが取り扱いが終了となるため、発送方法を変更してコスト上昇を抑えた。

【審議事項】

1 2024年度事業計画案【資料2】

事務局より報告

→参加者の拍手をもって承認

2 2023年度収支決算報告【資料3】

事務局より報告

3 会計監査【資料4】

楠瀬先生/山本先生より報告

→(2,3併せて)参加者の拍手をもって承認

4 2024年度予算案【資料5】

事務局より報告

→参加者の拍手をもって承認

5 2025年3月の常任幹事会の日程

・日程候補日:2025年3月17日(月)19:00~20:00

・形式:WEB(Zoom)開催

→参加者の拍手をもって承認

6 2025年6月の幹事・常任幹事会、総会、

第80回教育研修会の日程

事務局より提案

・日時:2025年6月21日(土曜日)14:30~18:00

もしくは2025年6月14日(土曜日)14:30~18:00

・会場:AP東京八重洲通り(11F K+L+Nルーム)

14:30~15:30 幹事・常任幹事会

15:40~15:50 製品情報提供

16:00~18:00 第80回教育研修会 2演題

→日程をどちらにするかは講師の先生の都合など考慮に入れて決める(教育研修委員会)

7 新常任幹事の推薦

事務局より報告

・伊藤 淳二先生(栃木県医師会塩原温泉病院
副院長)

推薦者:三上 容司先生(横浜労災病院 院長)

・上杉 雅文先生(茨城西南医療センター病院
院長)

推薦者:村松 俊樹先生(筑波学園病院 整形外
科部長)

・小宮 浩一郎先生(川崎市立川崎病院 整形外科
部長)

推薦者:上田 誠司先生(川崎市立井田病院
副院長)

・吉田 宏樹先生(国立病院機構栃木医療セ

ンター 整形外科部長)

推薦者:岩部 昌平先生(済生会宇都宮病院
副院長)

→それぞれ推薦者からの推薦のお言葉の後、参加者の拍手をもって承認

8 新幹事の推薦:

事務局より報告

・該当者なし

9 本日の総会における、議長・副議長選出

事務局より推薦

・議長:若林 良明先生(みなと赤十字病院)

・副議長:林 淳慈先生(新座志木中央総合病院)

→参加者の拍手をもって承認

10 その他

なし

以上

[文責:事務局 新井嘉容]

令和6年度 関東地区整形外科

勤務医会総会 議事録

日時：2024年6月22日 15:30-15:50

会場：「AP東京八重洲通り」 11F [L・M] ルーム

会員数：392名（入会 10名、退会 15名）

出席者：33名、委任状 47通

- ・議長：若林 良明 先生（横浜みなと赤十字病院）
- ・副議長：林 淳慈 先生（新座志木中央総合病院）

【報告事項】

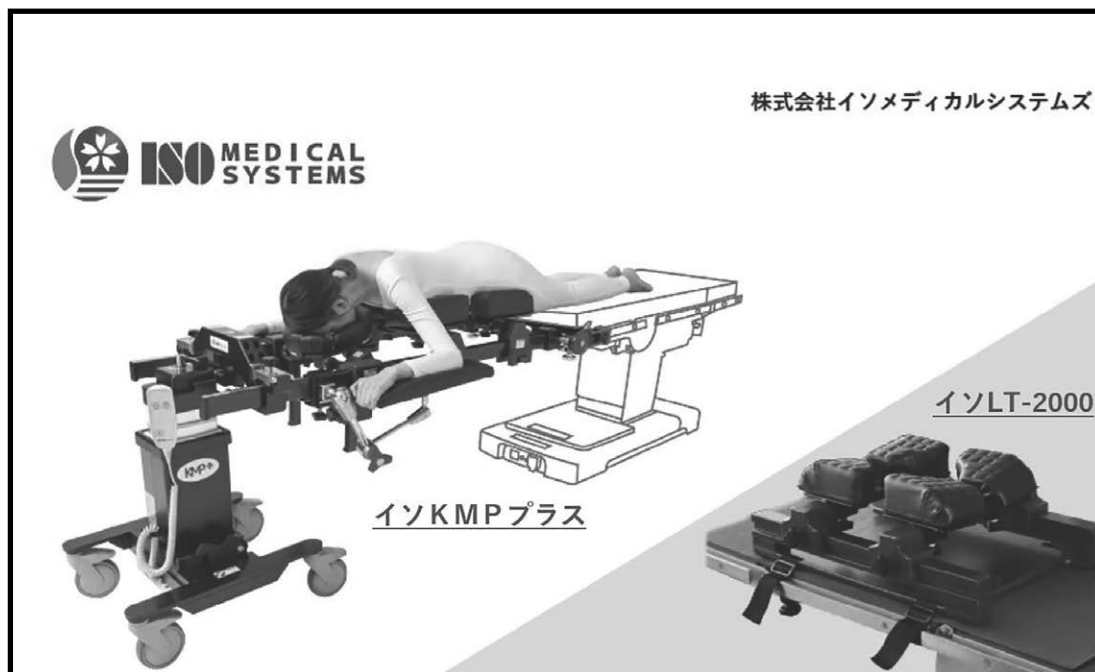
- 1 2023年度事業報告【資料1】
- 2 常任幹事の退任
 - ・落合 直之先生（キッコーマン総合病院 外科系センター長）
 - ・木村 雅史先生（医療法人社団善衆会善衆会病院 理事長）
- 3 研修委員の交代
 - (旧) 鎌田 修博先生（伊勢原協同病院）
 - (新) 岡 真人先生（河北総合病院）
 - (旧) 穂積 高弘先生（都立駒込病院）
 - (新) 原 慶宏先生（武蔵野赤十字病院）

【決議事項】

- 1 2024年度事業計画案【資料2】
→参加者の拍手によって承認
- 2 2023年度収支決算【資料3】
- 3 会計監査報告【資料4】
→(2,3併せて)参加者の拍手をもって承認
- 4 2024年度予算案【資料5】
→参加者の拍手によって承認
- 5 新常任幹事の承認
 - ・伊藤 淳二先生（栃木県医師会塩原温泉病院 副院長）
 - ・上杉 雅文先生（茨城西南医療センター病院 院長）
 - ・小宮 浩一郎先生（川崎市立川崎病院 整形外科部長）
 - ・中尾 祐介先生（東京都教職員互助会三楽病院 整形外科部長）
 - ・福田 健太郎先生（済生会横浜市東部病院 院長補佐 整形外科部長）
 - ・吉田 宏樹先生（国立病院機構栃木医療センター 整形外科部長）→参加者の拍手によって承認
当日参加の上杉 雅文 先生、中尾 祐介 先生、福田健太郎 先生よりご挨拶あり
- 6 新幹事の承認
 - ・該当者なし

以上

[文責：新井嘉容]



2023 年度事業報告

2023 年 6 月 1 日～2024 年 5 月 31 日

【資料 1】

会報発行：2 回

第 80 号：2023 年 12 月 16 日発行

第 81 号：2024 年 6 月 22 日発行

総会：1 回 2023 年 6 月 17 日

幹事・常任幹事会：2 回

2023 年 6 月 17 日、同年 12 月 16 日

常任幹事会：2 回 2

2023 年 10 月 23 日 (Web 開催)

2024 年 3 月 11 日 (Web 開催)

教育研修会：2 回 2023 年 6 月 17 日、同年 12 月 16 日

・第 76 回 教育研修会 2023 年 6 月 17 日

【演題 1】

座長：岡崎 真人先生

演者：田島 康介先生 (東京女子医科大学附属足立医療
センター整形外科 准教授)

演題名：手の骨折に対する鋼線連結型創外固定器を用
いた治療経験

【演題 2】

座長：新関 祐美先生

演者：坂本 優子先生 (順天堂大学医学部附属練馬病院
整形外科・スポーツ診療科 准教授/小児・AYA
世代ボーンヘルスセンター センター長

演題名：小児期そして AYA 世代にも考慮すべき骨代謝
異常と下肢アライメント異常

・第 77 回 教育研修会 2023 年 12 月 16 日

【演題 1】

座長：伊室 貴先生

演者：斎藤 充先生 (東京慈恵会医科大学整形外科学講
座 教授)

演題名：明日から使える骨評価 AI ソフトを用いた骨折
1 次・2 次予防の戦略

～長期に安全で効果的な逐次療法とは～

【演題 2】

座長：原 慶宏先生

演者：井口 浩一先生 (埼玉医科大学総合医療センター
外傷センター教授・外傷センター長)

演題名：頸椎頸髄損傷に対する救命治療戦略

全国整形外科保険審査委員会議 (全審会)

2023 年 9 月 10 日

外科系学会社会保険連合 (外保連)

総会、手術委員会、処置委員会、検査委員会、
麻酔委員会、実務委員会、広報委員会など

内科系学会社会保険連合 (内保連)

日整会社会保険委員会

日本整形外科勤務医会総会

2024 年 5 月 22 日

医療への貢献と、



より良いアメニティ空間の
創成に努めてまいります。

医療機器等販売・医療総合商社



望星サイエンス株式会社
BOHSEI SCIENCE CO.,LTD

〒113-0033 東京都文京区本郷5-5-14
TEL03-3818-6531 FAX03-3814-7720
URL : <http://www.bousei.co.jp/>

【資料2】

2024年度 事業計画案

2024年6月1日～2025年5月31日

会報発行：2回 2024年12月、2025年6月を予定

総会：1回 2024年6月22日

幹事・常任幹事会：2回

2024年6月22日、同年12月14日

常任幹事会：2回

2024年10月21日(Web開催)、2025年3月(Web開催)

教育研修会：2回 2024年6月22日、同年12月14日

・第78回 教育研修会 2024年6月22日

【演題1】

演者：折田 純久先生（千葉大学フロンティア工学
センター、千葉大学大学院整形外科学 教授）

演題：腰痛を取り巻く現状と次世代環境

【演題2】

演者：黒住 健人先生（国家公務員共済組合理会虎の門
病院 外傷センター 部長）

演題：整形外科医が知っておくべき BCP

(Business Continuity Planning)

・第79回 教育研修会 2024年12月14日

以下のお二方の先生にご講演をお願いし、内諾を得て

いる

【演題1】

演者：松坂 俊先生（飯塚病院 連携医療・緩和医療
科）

演題：壊死性筋膜炎について（仮）

【演題2】

演者：田中 伸哉先生（JCHO さいたま北部医療
センター 地域連携室長 整形外科診療部長）

演題：骨粗鬆症関係（仮）

※演題内容はまだ正式な演題名ではありません

全国整形外科保険審査委員会議（全審会）

2024年9月8日ハイブリッド開催

外科系学会社会保険連合（外保連）

総会、手術委員会、処置委員会、検査委員会、

麻酔委員会、実務委員会、広報委員会など

内科系学会社会保険連合（内保連）

日本整形外科学会社会保険委員会

日本整形外科勤務医会総会

2025年5月21日（予定）

勤務医会ホームページ維持・管理

会員メールアドレスの集積



TEIJIN
Human Chemistry, Human Solutions

Saccura
Spinal System

より幅広い症例で使用できるように
新たにフックとオフセットフックが追加されました。
これからも日本人に適した製品を提供していきます。

帝人ナカシマメディカル株式会社
〒709-0625 岡山市東区上道北方688-1
TEL. 086-279-6278 FAX. 086-279-9510

販売名:Saccuraスパイナルシステム(滅菌品)
医療機器製造販売承認番号:30100BZX00100000

【資料3】

【資料5】

2023年度 収支決算書

2023(令和5)年6月1日～2024(令和6)年5月31日

2024年度 予算書(案)

[収入の部]

[単位:円]

項目	予算額	決算額	増減	付記
前年度繰越金	2,357,909	2,357,909	0	
会費	600,000	592,000	▲ 8,000	会員392名中 148名納入済み
利子	20	18	▲ 2	
研修会費	200,000	257,000	57,000	
広告費	400,000	300,000	▲ 100,000	
幹事会費	0	0	0	
合計	3,557,929	3,506,927	▲ 51,002	

[収入の部]

[単位:円]

項目	本年度予算額	前年度予算額
会費	600,000	600,000
利子	20	20
研修会費	200,000	200,000
広告費	400,000	400,000
(幹事会費)	0	0
前年度繰越金	2,291,786	2,357,909
合計	3,491,806	3,557,929

[支出の部]

[単位:円, 予算に対して収入減:▲]

項目	予算額	決算額	増減	付記
幹事会費	0	0	0	
総会研修会費	300,000	262,680	▲ 37,320	
会報	420,000	297,552	▲ 122,448	
日本整形外科勤務会費	300,000	316,000	16,000	単位申請費 20,000円含む
通信費	10,000	1,834	▲ 8,166	
H P 運営費	200,000	183,700	▲ 16,300	
事務人件費	120,000	120,000	0	
雑費	10,000	33,375	23,375	
小計	1,360,000	1,215,141	▲ 144,859	
次年度繰越金	2,197,929	2,291,786	93,857	
合計	3,557,929	3,506,927	▲ 51,002	

[支出の部]

[単位:円]

項目	本年度予算額	前年度予算額
(幹事会費)	0	0
会場費 (総会研修会費)	300,000	300,000
会報	420,000	420,000
日本整形外科勤務会費	300,000	300,000
通信費	10,000	10,000
H P 運営費	200,000	200,000
事務人件費	120,000	120,000
雑費	10,000	10,000
小計	1,360,000	1,360,000
次年度繰越金	2,131,806	2,197,929
合計	3,491,806	3,557,929

かけがえのない命の手助け…



より良き健康と医療を目指して

サンメディックス株式会社

本社 〒104-6136
東京都中央区晴海1-8-11 晴海トリトンスクエアY棟3階
TEL 03-5144-0855(代) FAX 03-5144-0850

- 東京第一支店 〒179-0075 東京都練馬区高松6-35-15 TEL:03-5923-6235(代) FAX:03-5393-3057
 東京第二支店 〒130-0014 東京都豊田區亀沢4-17-12 TEL:03-5619-4551(代) FAX:03-6859-0016
 東京第三支店 〒169-0063 東京都杉並区和泉1-22-19 TEL:03-6680-0460(代) FAX:03-6690-0538
 多摩支店 〒187-0004 東京都小平市天神町1-9-27 TEL:042-348-5011(代) FAX:042-348-5015
 千葉支店 〒261-0023 千葉県千葉市美浜区中瀬1-3 TEL:043-296-1063(代) FAX:043-296-1067
 川崎支店 〒216-0005 神奈川県川崎市宮前区土橋1-21-5 TEL:044-870-6377(代) FAX:044-866-3813
 横浜支店 〒240-0005 神奈川県横浜市磯子区神戸町134 TEL:045-348-7260(代) FAX:045-348-7261
 相模原支店 〒252-0334 神奈川県相模原市南区若松1-1-3 TEL:042-767-3771(代) FAX:042-767-3773
 厚木支店 〒243-0016 神奈川県厚木市田村町110-12 TEL:046-296-2822(代) FAX:046-222-1563
 宇都宮支店 〒320-0074 栃木県宇都宮市細谷町388-1 TEL:028-616-1580(代) FAX:028-623-7350
 とちぎ支店 〒329-4404 栃木県栃木市大平町富田石川5100番3 TEL:0282-45-3701(代) FAX:0282-44-0891
 前橋販売センター 〒144-0042 東京都大田区羽田羽田1-1 羽田クラブ内 TEL:03-5735-7111(代) FAX:03-3743-8811
 水戸営業所 029-305-6125(代) 埼玉営業所 048-640-6621(代) 長野営業所 026-229-8030(代)
 筑波営業所 029-850-5185(代) 埼玉西営業所 0493-21-7310(代) 松本営業所 0263-24-1125(代)
 前橋営業所 027-280-4433(代) 山梨営業所 055-242-0301(代) 名古屋営業所 052-218-2735(代)

URL : <https://www.sunmedix.co.jp>

令和6年度関東地区整形外科

勤務医会 常任幹事会

議事録

日時：2024年10月21日（月曜日）19:00～20:20

方法：WEB（Zoom）開催

出席者：

阿江 啓介、浅野 聡、新井 嘉容、石橋 英明、
伊室 貴、上杉 雅文、浦部 忠久、江畑 功、
大江 隆史、大野 隆一、岡崎 真人、桂川 陽三、
鎌田 修博、亀山 真、河村 直洋、児玉 隆夫、
坂根 正孝、田尻 康人、戸野塚 久紘、長瀬 寅、
新関 祐美、萩原 敬一、林 淳慈、原 慶宏、
東川 晶郎、平泉 裕、平野 篤、眞塩 清、
松原 正明、三上 容司、村松 俊樹、森岡 秀夫、
山縣 正庸、吉田 英彰、吉田 宏

(35名：五十音順、敬称略)

【報告事項】

1 理事会報告

大江先生より報告

勤務医会に関係あるものに限って報告

7月理事会報告

- 各種委員会報告から専門医試験において追試験が
来年度から廃止、年1回となる
- 整形外科倫理委員会より整形外科領域の女性医師に対
して現状のアンケート調査の実施を承認した報告
- 「学術集会演題の応募における倫理手続きの指針」が更
新予定
今回の更新に伴い人を対象とする全ての研究は各組
織の所属する倫理委員会を通しておかないと日整会の
関係する3団体での発表できなくなる可能性あり、更新
日は未定

9月理事会報告

- 現状「大腿骨骨折の全国調査」と「JOANR」それぞれの登
録が別の為、統合化を目的にワーキンググループを設
置
- 「整形外科医を目指そう」のパンフレットを更新
- メンバーシップ委員会より名誉会員の訃報に関する「即
時のお知らせ」は日整会からアナウンスしないこととな
った

理事会での報告並びに理事会議録、追悼記事及び定
時社員総会資料の掲載は行う

各大学医局などで対応して欲しい

- 広報・渉外委員会より骨粗鬆症検診の啓発活動の一環
として、学会として「AC ジャパン」のテレビ広告に応募す
ることが提案され、承認
- 令和7年度「運動器の健康・骨と関節の日」の啓発テー
マは「勤労者のロコモ」(仮)、演者は中村英一郎産業
医科大学准教授
- 2023年度のJOSインパクトファクター(Impact factor)
が2022年度より低下したため、JOSに「ひとこと要約」
を導入、引用率の上昇を期待
- 日整会100年プロジェクト推進会議:全国一斉市民公開
講座の実施について開催日を2026年11月28日
(土)、29日(日)に決定し、23日(祝日・月曜日)(予備
日)とした

2 ホームページ・会報

伊室先生より報告

- 総会の結果によりホームページの役員名簿を変更
- 12月に発行する会報第82号の準備中

3 ロコモ チャレンジ！推進協議会の活動報告

大江先生より報告

勤務医会に関係あるものに限って報告（3回分の報
告から）

162回（6月）

- 「勤労者のロコモ」の視点から健保連との協働を
開始
- ロコモアドバイザーの申請基準の変更
整形外科専門医を更新しなかった名誉会員等がアドバ
イスターに申請された場合も登録申請可能とした

163回（7月）

- INOCHI WAKAZO PROJECTについて説明、全国大会が
11月末の予定
「ロコモティブシンドローム」がテーマ
大学生が主催する全国的規模のプロジェクト
- 中高生がプレゼンを通して社会課題に取り組む
- 全国4地域で予選が行われ本選に挑む
- 今回学生たちからの取材をロコモ関係者が取材を受
けることとなった
- ロコモチャレンジ推進協議会に加えて日整会も後援を
決定

164回（8月）

- 2025年3月「ロコモサミット2025」開催決定

- ロコモを通じていろんな他学会と共同シンポを開催
- ・日整会と人間ドック学会合同シンポに石橋先生出席
- ・日整会と栄養改善学会、骨粗鬆学会の合同シンポに大江先生出席
- ・日整会事務局より、書籍「フレイル・ロコモのグランドデザイン」を協議会の先生方に献本として送付

4 外保連関係

亀山先生より報告

関東整形外科勤務医会 社保委員会報告

- ・全審会の報告(2024/9/8 ハイブリッド開催)

- ・369名参加(うち現地参加109名)
- ・手術等:16案件, リハビリ, 医学管理, 検査, 投薬, 等:16案件

- ・外保連関連

1 手術実態調査依頼(4年ごとに施行)

- ・依頼施設:日本外科学会指定・関連施設(外保連より約2300施設へ依頼)
- ・調査項目:麻酔時間, 手術時間
- ・調査対象期間:9月, 10月の2カ月分, NCDや学会独自調査で可→次回外保連手術試案に反映させる予定

2 Kコード再編

- ・目的: **Kコードを術式別から臓器, 部位別のコード体系へ変換する**
- ・方法:整形外科領域を中心に, 1つのKコードで複数のSTEM7が分類される術式について, **麻酔時間の分布評価**を行い, Kコードを再編.
 - 国際基準となる見込みの「保健・医療関連行為に関する国際分類(ICH)のステムコードが部位(Target)に対して何を行うか(Action)の順でコーディング
 - 整形外科領域のKコード精緻化・合理化プロジェクトチームにより, 1120術式に新しい術式名を付し, 並び順を決定
 - 術式名は, 部位名一術式となり, 新しいKコード(案)が付与
- 例) K046 2骨折観血的手術(前腕, 下腿) → K051-2 4前腕骨折観血的手術, K061-2 4下腿骨骨折観血的手術に変更.
 - 令和8年度改定で反映させる予

日本整形外科学会合同会議(2024/8/8)

- 外保連所属の整形外科関連学会代表が参加
- ・令和8年度要望案件の提示

- ・各学会間の情報伝達(日整会との共同提案の希望について)

令和8年度改定の勤務医会からの要望予定案件

- ・要望アンケートの締切りは9月30日(事務局より提出し, 外保連より受理の報告済み)
- ・「通則14の追加:人工骨頭挿入術(肩)と骨折観血的手術(上腕)の併施」(要望書記載担当:日本整形外科勤務医会, 共同提案:日本肩関節学会, 日本整形外傷学会(旧:日本骨折治療学会), 日本整形外科学会)
 - 要望の概要:上腕骨近位端骨折に対して人工骨頭挿入術(肩)を行う場合, 上腕骨骨頭を人工肩骨頭に置換し, その周囲を上腕骨の大結節, 小結節が付着する腱板で覆い, 腱板機能の温存を図りつつ大結節, 小結節, 上腕骨骨幹部相互の骨癒合を得る手術を追加する. 以上の操作は, 人工骨頭挿入術(肩)と骨折観血的手術(上腕)を同一術野で行う複数手術に相当するため, この2術式の併施を通則14の追加(複数手術に係る費用の特例)として要望する.

平泉先生より報告

外保連関連

- ・整形外科手術領域のKコード改変作業:
 - 6月1日最終案を外保連から厚労省保険局医療課に提出
 - 10月1日厚労省保険局医療課技官とWeb会議
 - ・他の診療科にも導入していくための標準化
 - ・令和8年度診療報酬改定で実用化される見通し
- ・手術委員会:6月20日, 10月10日, 10月30日手術試案の新規・改正等:
 - ・軟部悪性腫瘍切除術 大腿, 体幹, 上腕(複雑)サルコーマ治療学
 - ・軟部悪性腫瘍切除術 大腿, 体幹, 上腕(単純)
 - ・関節鏡下偽関節手術 手外科学会
 - ・靭帯再建術・前十字靭帯(関節鏡下) 膝関節学会
 - ・肩関節唇形成術(腸骨移植術を伴うもの)(関節鏡下) 肩関節学会
 - ・肩腱板断裂修復術(腱板断裂5cm未満) その他関連6件
 - ・骨折観血の整復固定術・肋骨(4本以上) 呼吸器外科
 - ・骨折観血の整復固定術・肋骨(3本以下)

- ・骨折観血的整復固定術・胸骨
- 医療材料データの更新：令和7年1月10日締切
- 手術実態調査：9月分と10月分の各術式にかかる手術時間と麻酔時間。12月2日締切
- ・実務委員会：9月30日令和8年度診療報酬改定の要望項目リスト提出締切
- 来年3月 提案書の提出締め切り。
- ・処置委員会：10月16日
 - ・エコー下股関節注射、エコー下椎間関節注射、透視下椎間関節注射
- ・検査委員会：10月29日
- ・麻酔委員会：9月26日、12月5日
 - 神経ブロック作業部会
 - ・L100 およびL101 神経ブロック実態調査について：9月1日付で日本ペインクリニック学会と日本臨床整形外科学会理事長宛に各学会専門医を対象に実態調査（10月末日締切：グーグルフォーム入力）
 - ・超音波ガイドについて：実態調査には超音波ガイド使用の有無が含まれ、標準的診療と位置付けられるかとの問いに一定の見解が得られる可能性がある
- ・内視鏡委員会：
- ・総務委員会：12月に国家公務員俸給表が発出予定。提案書の人件費算出に利用
- ・記者懇談会：6月17日「働き方改革が外科診療に及ぼす影響について：現状報告」
 - (1)「臨床研究を継続しなかったら、日本の医療は終わる」
 - (2)実質的な産婦人科医の労働時間、過労死基準の約2倍」
 - (3)「診療科間での労働力と報酬の乖離、悪化させる」
- 11月11日「令和6年診療報酬改定の検証」
 - (1)急性期充実体制加算（日本心臓血管外科学会）
 - (2)特定集中治療室管理料・救命救急入院料（日本救急医学会・日本集中治療医学会）
 - (3)短期滞在手術等基本料（日本眼科医会）

日整会社保関連

- ・5月25日第97回日整会学術総会 理事会提案シンポジウム「JOANR 運用5年目の現状と今後の展望」で、各専門学会にデータ利用を促したい
- 窓口は日整会社保委員会

- ・7月29日 第1回社保委員会
 - ・モルヒネ髄注ポンプに関する3学会合同WG会議の途中経過報告
 - ・骨粗鬆症関連学会合同会議 10月9日
 - ・ビー・ブラウン・エースクラップ社のテレスコピックロッド終売とその後の状況報告
 - ・ステンレス製インプラントの健全な再流通環境
 - ・エルカトニンアンブル製剤の供給停止
 - ・ヒアルロン酸Na 関節注25mg製剤の不採算再算定制度申請
 - ・リンデロン懸濁注2.5mg[®]の不採算再算定制度申請
- ・8月8日 整形外科関連学会社保合同会議（8月8日Web開催）：19学会+1委員会が出席
 - ・各学会から令和8年度診療報酬改定で要望を予定している技術について説明
 - ・日整会との共同提案を希望する術式をリストアップ
 - ・新規技術の外保連試案を提出する主学会を決定
 - ・日整会社保と整形外科関連学会社保が連携して情報共有していくことを確認
 - ・令和8年度診療報酬改定の外保連経由要望リスト（新設5件、改正8件）

【新設】

- 1 超音波ガイド下ハイドロリリース療法（主：日整会、副：日本運動器科学会）
- 2 悪性軟部腫瘍手術（複雑）（主：日整会、副：サルコーマ治療研究会）
- 3 人工関節置換術・膝関節（ロボット支援）（主：日本人工関節学会、副：日整会、日本膝関節学会）
- 4 腰椎固定術（ロボット支援）（主：日本脊椎骨髄病学会、副：日整会）
- 5 悪性軟部腫瘍手術（単純）（主：サルコーマ治療研究会、副：日整会）

【改正】

- 1 人工骨頭挿入術・股 緊急挿入加算（「骨折後」から「来院後」への変更）（日本骨折治療学会）
- 2 骨折観血的手術・大腿 緊急整復固定加算（「骨折後」から「来院後」への変更）（日本骨折治療学会）
- 3 体外衝撃波疼痛治療術（腱附着部への適応の拡大）（日本スポーツ整形外科学会）
- 4 骨切り術・中足骨（別手術野の関節リウマチ患者限定を解除）（日本足の外科学会）
- 5 人工股関節置換術（手術支援装置を用いるもの）（適応の拡大）（日本股関節学会）

6 人工骨頭挿入術・肩関節 「通則 14 の追加 (人工骨頭挿入術・肩関節と骨折観血的手術 (上腕) の併施) (主: 日本整形外科勤務医会 副: 日本肩関節学会, 日本骨折治療学会)

7 観血的骨折整復固定術 骨転移加算 (日整会)

8 人工関節置換術・肘関節 (増点要望) (日本手外科学会)

・9月8日全国整形外科保険審査委員会議(ハイブリッド開催、約400名)

・会議報告が10月15日発行 日整会広報室ニュースに掲載

・11月6日整形外科関連学会合同内保連会議: 日整会、運動器科学会、臨床整形外科学会、骨粗鬆学会、腰痛学会、運動器疼痛学会、リハビリテーション医学会

5 内保連関係

石橋先生/山縣先生より報告

・内保連関係学会の合同会議が11月6日に開催される予定

・日整会とJCOAとの間でロコモ・フレイル指導管理料を申請することが決定されているが対象疾患が明確化されていないことや、老年医療学会との協議も必要といった課題の解決も必要

6 関東地区整形外科勤務医会(第75回教育研修会)

事務局/村松先生より報告

・日時:2024年12月14日(土)14:30~18:00

・会場:旭化成ファーマ株式会社 医薬東京支店 会議室

〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目3番1号 新宿アイランドウイング 11階

14:30~15:30 幹事・常任幹事会

15:40~15:50 製品情報提供

16:00~18:00 第79回教育研修会

18:00~20:00 情報交換会(予定)

・演題1

演者:松坂 俊先生(飯塚病院 連携医療・緩和医療科)

演題:「壊死性軟部組織感染症を見逃さないために知っておくべきこと ~症例から学ぶ壊死性軟部組織感染症のA to Z~」

座長:→審議事項1

必須単位[6]リウマチ性疾患・感染症

・演題2

演者:田中 伸哉先生(東都春日部病院 整形外科

診療部長)

演題:「40年にわたる骨粗鬆症治療の組織学的アルゴリズム」

座長:→審議事項1

必須単位:[4]代謝整骨疾患(骨粗鬆症を含む)

研修単位取得受付では2次元コードリーダーを使用

・勤務医会経費にて2次元コードリーダー(2台)購入

・単位申請にあたり各自スマホにJOINTS(アプリ)をダウンロード、登録

・当日はJOINTS内に表示される2次元コードを提示、もしくは2次元コードをプリントアウトして持参

7 次々回2025年3月の常任幹事会の日程

事務局より報告

・日時:2025年3月17日(月)19:00~20:00

・形式:WEB(Zoom)開催

8 茨城支部役員改選のご報告:事務局

・茨城支部会長 総合病院土浦協同病院院長河内敏先生のご逝去に伴う役員改選、2024/8/30に決定
会長:坂根 正孝先生(筑波学園病院 副病院長)

副会長:水野 広一先生(総合病院土浦協同病院 整形外科部長)

上杉 雅文先生(茨城西部医療センター病院 院長)

事務局:原田 繁先生(筑波学園病院 名誉病院長)

9新常任幹事紹介

事務局より報告

・伊藤 淳二先生(栃木県医師会塩原温泉病院 副院長)

・小宮 浩一郎先生(川崎市立川崎病院整形外科部長)

・吉田 宏樹先生(国立病院機構栃木医療センター整形外科部長)

10 東日本整形災害外科学会評議員に関して

田尻先生より報告

・各都道府県の大学、勤務医会、JCOAから選出

・条件:年齢(67歳未満)と入会からの年数(15年)

各支部で該当者の確認・確保を

・理事会にて千葉県原田先生の後任が不在で欠員の状態

・今後、勤務医会でも検討が必要

11 その他

事務局より報告

・現役の常任幹事亡くなられた場合、Zoomでは“黙祷”を行うことが難しいため、「幹事・常任幹事会」の冒頭で“黙祷”を捧げることとする

【審議事項】

1 関東地区整形外科勤務医会(第79回教育研修会)の座長

- ・演題1：戸野塚 久紘先生(神奈川県リハビリテーション病院 整形外科部長)
- ・演題2：吉田 英彰先生(公立福生病院 院長)
→参加者へ意見の有無を確認の上、全会一致で承認

2 関東地区整形外科勤務医会(第80回教育研修会)の日程ならびに演者の選定

- ・日時:2025年6月21日(土曜日) 14:30~18:00
(候補日は6月14日と21日、14日はリハビリテーション学会と重なる)
- ・会場:AP東京八重洲通り
- ・演者候補と演題名:

- ・古島 弘三先生(慶友整形外科病院 副院長)
講演内容:「胸郭出口症候群の診断治療、内視鏡手術(仮)」
- ・演者:相馬 考博先生(千葉大学医学部附属病院 医療安全管理部特任教授)
講演内容:「医療安全関係や病院管理でのリーダーシップ論について(仮)」

→参加者へ意見の有無を確認の上、全会一致で承認

3 日整会代議員および補欠代議員、日整会理事立候補者・監事立候補者の登録について

- ・関東地区整形外科勤務医会への割り当て枠
代議員1名増→代議員15名、補欠代議員1名
- ・日整会規約では理事は立候補する年(選挙年)の4月1日時点で66歳未満(65歳以下)が立候補できるが代議員に関しては資格制限記載なし
- ・勤務医会の役務を外れたら代議員も交代する

【2025年度 事務局案】 (敬称略)

選挙年の前年の11月30日までに、JOINTSを通して候補届及び所信を登録(所信には「関東地区整形外科勤務医会の推薦を受けて」と一言入れる)

【日整会代議員】(日整会正会員5名の推薦、名誉会員は不可)

現在(14名) → 2025年度(15名)

役職 氏名/所属 氏名/所属

(1) 日本勤務医会会長

田尻 康人(②:21, 23) → 田尻 康人

東京都立広尾病院

東京都立広尾病院

(2) 日本勤務医会事務局

吉田 英彰(①:23) → 吉田 英彰

公立福生病院 公立福生病院

(3) 関東勤務医会会長

大江 隆史(①:23) → 大江 隆史

NTT 東日本関東病院 NTT 東日本関東病院

(4) 関東勤務医会広報

伊室 貴(②:21, 23) → 伊室 貴

厚木市立病院 厚木市立病院

(5) 関東勤務医会研修

村松 俊樹(②:21, 23) → 村松 俊樹

筑波学園病院 筑波学園病院

(6) 関東勤務医会女性枠

新関 祐美(②:21, 23) → 新関 祐美

草加市立病院 草加市立病院

(7) 関東勤務医会事務局、埼玉県代表

新井 嘉容(③:19, 21, 23) → 新井 嘉容

済生会川口総合病院 済生会川口総合病院

(8) 東京都代表

松原 正明(②:21, 23) → 松原 正明

日産厚生会玉川病院 日産厚生会玉川病院

(9) 神奈川県代表

三原 久範(③:19, 21, 23) → 三原 久範

横浜南共済病院 横浜南共済病院

(10) 千葉県代表

原田 義忠(③:19, 21, 23) → 原田 義忠

済生会習志野病院 済生会習志野病院

(11) 茨城県代表

河内 敏行(②:21, 23) → 坂根 正孝(初)

土浦協同病院 筑波学園病院

(12) 栃木県代表

岩部 昌平(①:23) → 岩部 昌平

済生会宇都宮病院 済生会宇都宮病院

(13) 群馬県代表

萩原 敬一(①:23) → 萩原 敬一

善衆会病院 善衆会病院

(14) 外保連

亀山 真(①:23) → 亀山 真

済生会中央病院 済生会中央病院

(15) 内保連

石橋 英明(初)

伊奈病院

【日整会補欠代議員】（日整会正会員 5名の推薦、名誉会員は不可）

現在（1名） → 2025年度（1名）

(1) 関東勤務医会

穂積 高弘 → 平泉 裕
都立駒込病院 成城リハケア病院

【日整会理事】（日整会代議員 5名の推薦）

現在（1名） → 2025年度（1名）

(1) 日本勤務医会会長

田尻 康人(23) → 田尻 康人
東京都立広尾病院 東京都立広尾病院

(2) 関東勤務医会会長

大江 隆史(23) → 大江 隆史
NTT 東日本関東病院 NTT 東日本関東病院

代議員候補者の申請手続き状況は田尻先生から日整会事務局担当者に随時確認頂く

→参加者へ意見の有無を確認の上、全会一致で承認を得た

4 新常任幹事の推薦

・候補者:水野 広一先生(総合病院土浦協同病院整形外科部長)

推薦者:坂根 正孝先生(筑波学園病院 副病院長)

→参加者より異議なく、全会一致で承認を得た

5 新幹事の推薦

・なし

6 その他

・なし

7 次回関東地区整形外科勤務医会幹事・常任幹事会

・日時:2024年12月14日(土) 14:30~15:30

・場所:新宿アイランドウイング 11階

旭化成ファーマ(株) 医薬東京支店会議室

以上

[文責:新井嘉容]

事務局から

真夏日の回数が過去最多となり、その時期が11月までに及んで観測記録となった暑い夏がようやく終わりました。と思うと、急に真冬のような日が訪れるという異常気象を体感するとともに、秋がなくなった気がします。

暑い真夏の最中の8月より日本整形外科学会では「日整会 JOINTS」の運用が開始されました。これにより教育研修講演の単位申請では2次元コードが必要となりました。事前に JOINTS のアプリをダウンロード後、登録をお願いいたします。当日の教育研修単位申請時には、2次元コードをご呈示くださいますようお願い申し上げます。

(文責:伊室 貴)

事務局からのお願い

勤務先や住所に変更が発生した際には、事務局へのご連絡をお願いいたします。

関東勤務医会では、正確な名簿やホームページの作成および維持のためにも、みなさまのご協力をお願いいたします。

第 79 回 日整会認定教育研修会のご案内

関東地区整形外科勤務医会では、下記のごとく幹事会および教育研修会を開催いたします。専門医以外の先生方もお誘いの上、ご参加下さい。

記

日 時：令和 6 年 12 月 14 日（土曜日） 開始時間は下記をご参照下さい
会 場：新宿アイランドウイング 11 階 旭化成ファーマ（株）医薬東京支店会議室
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6 丁目 3-1
TEL：03-6911-3811（当日連絡先）
（会場が 6 月と異なることにご注意ください）

幹事・常任幹事会：14:30～15:30

教育情報提供：15:50～16:00 製品情報

教育研修会：16:00～18:00

【演題Ⅰ】

座長：神奈川リハビリテーション病院 整形外科 部長 戸野塚 久紘先生

演題名：「壊死性軟部組織感染症を見逃さないために知っておくべきこと
～症例から学ぶ壊死性軟部組織感染症の A to Z～」

演者：飯塚病院 連携医療・緩和ケア療科 診療部長
松坂 俊先生

必須単位：[6] リウマチ性疾患、感染症

【演題Ⅱ】

座長：公立福生病院 院長 吉田 英彰先生

演題名：「40 年にわたる骨粗鬆症治療の組織学的アルゴリズム」

演者：東部春日部病院 整形外科 診療部長
田中 伸哉先生

必須単位：[4] 代謝性骨疾患

会場費：¥1000

受講料：1 題 ¥1000（単位取得者のみ）

事前に JOINTS のアプリをダウンロード後、登録をお願いいたします。

当日の教育研修申請時には、2 次元コードをご呈示ください。

懇親会：講演会終了後に同会場で情報交換会を用意しております

参加事前申込先：新井 嘉容 済生会川口総合病院 整形外科

〒332-8558 埼玉県川口市西川口 5-11-5

TEL 048-253-1551

共 催：関東地区整形外科勤務医会
旭化成ファーマ株式会社

関東地区整形外科勤務医会 入会申込書

令和 年 月 日

フリガナ _____

御氏名 _____

生年月日 昭和・平成 年 月 日

現住所 〒 _____

TEL _____

勤務先名称

勤務先住所 〒 _____

TEL _____

メールアドレス _____

役職名 _____

出身大学 _____

卒業年次 昭和・平成・令和 年

出身教室 _____

入会申し込み送り先

〒332-8558 埼玉県川口市西川口 5-11-5

埼玉県済生会川口総合病院 整形外科

関東地区整形外科勤務医会事務局代表 新井 嘉容

TEL 048-253-1551

FAX 048-256-5703

E-Mail kanto.orth@gmail.com



Persona® Knee System

No Compromise

様々な患者さんに適合するインプラントを目指して

Persona®人工膝関節システムは、術後の機能低下をより改善させるために、生体膝に基づいたアナトミカル形状にデザインされています。

- ・ AP長 2mm間隔の大腿骨コンポーネント、厚み 1mm間隔のサーフェイス
- ・ スタンダード及びナローサイズを含めた 21種類の大腿骨コンポーネント
- ・ 高い骨被覆率のための内外側非対称脛骨コンポーネント



販売名：Persona PS セメントシステム / 承認番号：225008ZX00384000 / 高度管理医療機器 / 全人工膝関節 / 人工膝関節 KF-2、KT-6、KI-11
 販売名：Persona CR セメントシステム / 承認番号：225008ZX00385000 / 高度管理医療機器 / 全人工膝関節 / 人工膝関節 KF-2、KI-11
 販売名：Persona Vivact-E CR サーフェイス / 承認番号：226008ZX00189000 / 高度管理医療機器 / 人工膝関節脛骨コンポーネント / 人工膝関節 KI-12

【禁忌・禁止】、【使用目的又は効果】、【使用上の注意】、及び不具合・有害事象等の情報については、本製品の添付文書をご参照いただくか、弊社営業担当者までご連絡ください。製品のさらなる最新の情報は、<https://www.zimmerbiomet.com/ja/>にてご確認ください。



ジンマー バイオメット <https://www.zimmerbiomet.com/ja>

本社 〒105-0011 東京都港区芝公園二丁目 11 番 1 号 住友不動産芝公園タワー 15 階
 Tel. 03-6402-6600 (代)

stryker

Advanced Digital Healthcare

Innovation that empowers outcomes.™



Mako SmartRobotics™

人工関節置換術用ロボティックアーム手術支援システム

Stryker NAV3i

ストライカーNAV3iプラットフォーム

医療機器承認番号	販売名
22900BZX00325000	Makoシステム
22600BZX00098000	ストライカーNAV3iプラットフォーム

ストライカー製品についてご不明な点は、弊社までお問い合わせください。
◎ マークの付いた製品名は、ストライカーグループ各社の登録商標です。

Literature Number: SJ09-004L
Copyright ©2024 Stryker

製造販売業者
日本ストライカー株式会社
P 03 6894 0000

www.stryker.com/jp

いのちの
数だけ、
アンサーを。



旭化成ファーマ株式会社
<https://www.asahikasei-pharma.co.jp>

